

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----|-----------|
| 園名 | 若葉保育園 |
| 日時 | 令和8年1月28日 |

1. 活動テーマ

<テーマ>

2歳児…大根と蕪に触ってみよう

<テーマ設定理由>

園庭の畑で育てている大根と蕪の成長を日々楽しみにしていた為、収穫を機に触れてみた。

2. 活動スケジュール

「これは何かな?」「触ってみよう」など安心できる声かけをする。大根と蕪(根・葉)を用意し、順番に手に取って触れる。「どっちが大きい?」「葉っぱがちがうね」などの言葉かけで比較を促す。転がす・持ち上げる・においをかぐなど、興味に応じて関わりを広げる。(例:重さ比べ、におい比べ)気づきを共有する(「重かったね」など)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・大根、蕪
- ・まな板、包丁

4. 探究活動の実践

<活動内容>

大根と蕪(根の部分、葉の部分)を用意し、子どもたちが順番に手に取って触れたり、見比べたりする時間を設けた。「どっちが大きい?」「葉っぱがちがうね」など、保育士の言葉かけをきっかけに、観察を深めるようにした。必要に応じて、机上で転がしてみる、持ち上げて重さを感じる、においをかぐ、葉をちぎって感触を確かめるなど、子どもの興味に沿って関わった。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・保育園で育てた大根と蕪を収穫し、実物の野菜に触れて観察する活動を行った。大根と蕪(根・葉)を用意し、子どもが順番に手に取って触れたり見比べたりできるようにし、保育士は「どっちが大きい?」「葉っぱがちがうね」などの言葉かけで形や大きさ、葉の違いへの気づきを一緒に考えた。

・大根に触れた際は、葉をちぎって茎だけの形にし、感触や見た目の変化を楽しむ姿が見られた。また「虫みたい」「蛇みたい」と連想して言葉にする声上がり、葉の形をイメージに結びつけながら遊ぶ様子があった。大根の葉をうちわのようにして仰ぎ、風を感じて楽しむ姿も見られた。

・蕪に触れた際は「大根の匂いがする」と、においの共通点に気づく発言が聞かれた。大根と蕪を両手に持って比べ、「大根の方が重たい」と重さの違いを確かめながら言葉にする姿もあった。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・今回のすくわくでは、子どもたちが大根と蕪を「触る・ちぎる・においをかぐ・持ち比べる」といった五感を通して関わり、見立てや比較の言葉も自然に生まれていた。
- ・今回の活動で使用をした大根と蕪の葉と茎の部分の部分を切って水に浸しておくことで葉の成長を子どもと見て経過を観察して、継続的に見ていきたい。
- ・4月当初と比べると子ども達の表現力や語彙力も豊かになっていたので今日の活動は子ども達の気づきや発言を多く見たり、聞くことができた。以前は集中力もすぐに途切れていた子どもも今回はじっくりと野菜や葉に向き合っている姿を見ることができ、成長を感じた瞬間でもあった。
- ・年間を通して野菜の葉や植物の葉など様々な葉の形や色、香りに触れたり、見たりする経験を持つことで園庭遊びの中で子ども自ら落ちている葉に興味を持って「先生、見て」「緑だね、こっちは何色?」などと考えを広げている姿もあった。今の子どもを大切に叶への興味をより広げていけるように継続させていくことを大切にしたい。